

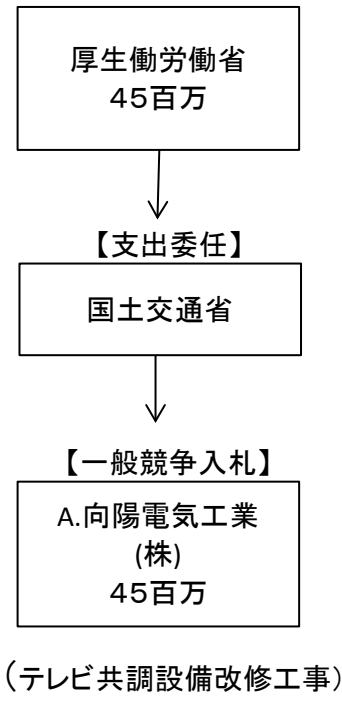
行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	中央合同庁舎第5号館施設整備等事業 ① 中央合同庁舎第5号館テレビ共聴設備改修工事 ② 中央合同庁舎第5号館整備等経費 ③ 戸山5号宿舎解体撤去及び人骨発掘調査 ④ 厚生労働省東村山宿舎外壁改修その他工事 ⑤ 厚生労働省宿舎アスベスト調査	担当部局	①～②、④～⑤大臣官房(会計課) ③医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	①大臣官房会計課管理室 ②大臣官房会計課経理室 ③医政局国立病院課 ④⑤大臣官房会計課福利厚生室	伊東 齋 野田 律 池永 敏康 篠崎 隆男			
会計区分	一般会計	施策名	-				
根拠法令(具体的な条項も記載)	②日本年金機構法(平成十九年七月六日法律第九号)第3条(基本計画) ④⑤国家公務員宿舎法第5条	関係する計画、通知等	②社会保険庁改革 ④⑤労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、石綿障害予防規則				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①2011年7月24日でアナログ放送が停止となり、デジタル放送へ移行されることに伴い、中央合同庁舎第5号館において デジタル放送を受信できるようテレビ共聴設備の改修を行うとともに、庁舎テレビ専用線等の老朽化に伴う画像ノイズを除去するため、同回線の更新を行う。 ②平成22年1月の社会保険庁廃止に伴い、新たに年金局の組織体制を整える必要が生じたため、これに伴う中央合同庁舎第5号館(以下「5号館」という。)内でのフロアの移転・再配置を行なうもの。 ③旧陸軍軍医学校の元職員による証言に基づき、人体標本が埋められたとされる独立行政法人国立国際医療研究センター(旧国立国際医療センター)戸山5号宿舎について、厚生労働省が土地の管理者として当該宿舎の解体撤去を行い、敷地全体の掘削調査を実施することにより人体標本の有無を確認するものである。また、人体標本の有無にかかわらず、事業完了後は整地して財務省へ引き継ぐこととしている。 ④東村山宿舎について、経年による外壁改修及び受水槽更新を行う。 ⑤廃止予定宿舎(※)について、アスベストの使用の有無の確認を行う。 (※)西大久保宿舎、麻布寮宿舎、中野第一宿舎、中野第二宿舎、大蔵宿舎、東が丘宿舎、弥生寮宿舎、江古田宿舎						
事業概要(5行程度以内。別添可)	①テレビ共聴設備の改修を行い、デジタル化対応を図った。また、庁舎テレビ専用線等の更新を行った。 ②暫定的に5号館内の会議室等に移転させた新年金局と旧年金局とを合体させ、新たなフロアに移転させるための整備を行うなど、段階的に新たな組織体制を形成していくための工事を実施した。 ③対象敷地をフェンスで囲い、6ヶ所の試掘により、埋蔵文化財(江戸層)までの地層・深度を確認するとともに、シートパイル(土留矢板)を設置し土坑に注意しながら、バックホウにより掘削を実施する。また、掘削土は敷地内の非掘削地に盛土しておき、埋め戻す。調査に当たっては、埋蔵文化財(江戸層)等の地質を見極められる調査員を常時2名配置することとし、作業中の出土物は発掘業者が一時的に管理とするが、作業が完了した際には報告書とともに提出させ保管する。 ④東村山宿舎については、平成5年に竣工してから既に16年以上経過し、外壁に亀裂が見られ、雨水の浸透により鉄筋の腐蝕が懸念されることから早急な補修が必要であり、また、FRP製の受水槽も15年の耐用年数を経過しているため、劣化による破損も考えられることから、入居者の生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていった。このため、外壁改修及び受水槽更新を行ったもの。 ⑤廃止予定宿舎については、用途廃止後、国有財産として財務省へ引き継ぐこととなる。この財務省への引継ぎに当たっては、対象となる国有財産のアスベストの使用状況について、専門業者による報告書の提出が必要となっており、この報告書作成のための調査を行ったもの。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	184	830	430	117	1,280
		補正予算					
		繰越し等				153	
		計	184	830	430	270	1,280
		執行額	171	749	90		
	執行率(%)	93%	90%	21%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業の内容は、庁舎等の改修工事等であるため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業の内容は、庁舎等の改修工事等であるため、定量的な活動指標を示すことはできない。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	() ()
単位当たりコスト	- (円/)	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	117	1,280	新規事業(自家発電設備改修工事・厚生労働本省執務室等二重窓設置工事)による増			
	計	117	1,280				

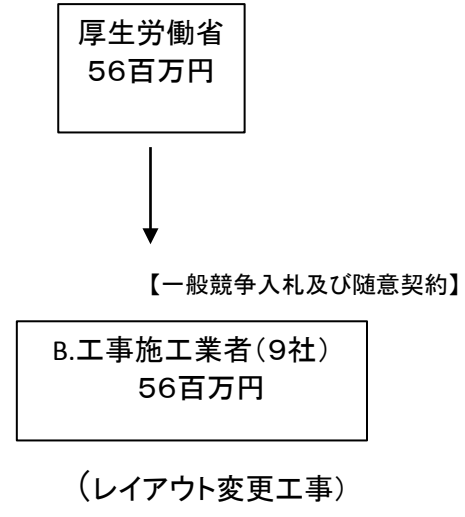
事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	③「○」	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	②「△」⑤「×」小額随契	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		③「○」
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		②③「○」
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	③④⑤「○」	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>①本事業は、事業完了後の実施した確認検査において、仕様書どおり、適切に履行されていることを確認した。</p> <p>②金額の大きい工事本体は最低価格落札方式による一般競争入札を行う等、費用の低減に努めた。 なお、本件事業は平成21・22年度限りの事業である。</p> <p>③本事業は平成22年度限り（一部、平成23年度へ繰越し）の事業である。 発掘調査の過程で、不測の事態が発生したことにより工期が3ヶ月程度遅延したが（平成23年6月末終了予定）、その他の点については契約書どおりに事業が実施されていることを確認している。</p> <p>④契約書及び設計図書どおり、施工されていることを確認した。</p> <p>⑤契約書どおり、アスベスト報告書の提出がされたことを確認した。</p>			
予算監視・効率化チームの所見				
現状通り	各年度の整備計画の優先順位を精査し、引き続き効率的な執行に努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
－				
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				

※平成22年度実績を記入

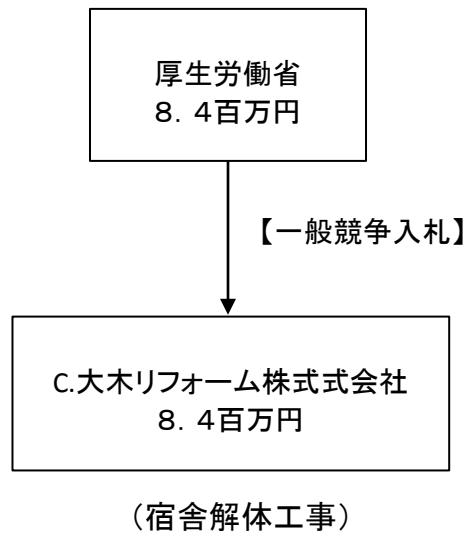
① 中央合同庁舎第5号館テレビ共調設備改修工事



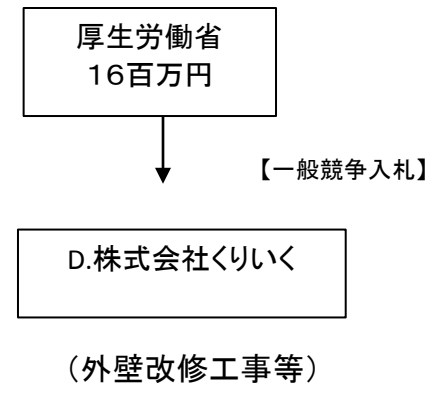
② 中央合同庁舎第5号館レイアウト変更工事



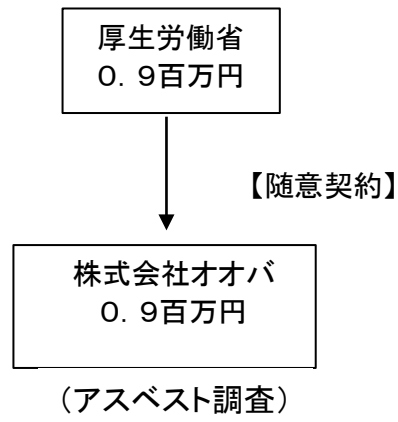
③ 戸山5号宿舎解体工事



④ 厚生労働省東村山外壁改修その他工事



⑤ 厚生労働省宿舎アスベスト調査



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

A.向陽電気工業(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	中央合同庁舎第5号館テレビ共聴設備改修工事	45			
計		45	計		0
B.イズミコンストラクション			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	中央合同庁舎第5号館レイアウト変更工事	56			
計		56	計		0
C.大木リフォーム株式会社			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	戸山5号宿舍解体撤去	8			
計		8	計		0
D.株式会社くりいく			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	厚生労働省東村山外壁改修その他工事	16			
計		16	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	向陽電気工業(株)	テレビ共聴設備の改修及びテレビ専用線等の更新	45	1	77.2%
2		以上			

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イズミ・コンストラクション	中央合同庁舎第5号館8階他レイアウト変更工事	40	14	66%
2	東芝ソリューション(株)	厚生労働省ネットワークシステム端末等増設及び移設作業	11	単価契約	
3	向山装飾(株)	中央合同庁舎第5号館パーティション設置等工事	2.3	随意契約	
1	(有限)タケマエ	中央合同庁舎第5号館パーティション撤去等作業	1.2	随意契約	
2	日本電気株式会社	年金局数理課サーバ移設作業	1	随意契約	
3	NECネクサソリューションズ(株)	公的年金財政評価システムの移設作業	0.6	随意契約	
4	ネットワンシステムズ(株)	中央合同庁舎第5号館レイアウト対応変更	0.5	随意契約	
5	八重洲電気(株)	中央合同庁舎第5号館8階ほか配線工事	0.3	随意契約	
6	ブルームバーグL. P.	年金局ブルームバーグプロフェッショナルシステム移設	0.1	随意契約	
7		以上			

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大木リフォーム株式会社	戸山5号宿舎解体工事	8.4	16	57.14
2		以上			

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)くりいく	厚生労働省東村山外壁改修その他工事	16	12	84%
2		以上			

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オオバ東京支店	テレビ共聴設備の改修及びテレビ専用線等の更新	45	1	77.2%
2		以上			